

抜粋版

役員会会議次第

日本測量者連盟

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 題

(1) 役員の異動報告並びに役員等の選任(案) 資料1

(2) 2024年度 事業報告及び決算報告 資料2

(3) 2025年度 事業計画(案)及び予算(案) 資料3

(4) マレーシア公認測量者協会からの短期研修の受け入れ 資料4

(5) その他

・2024年 JFS 報告会の概要 資料5

・FIG 作業週間 2025 の概要 資料6

4. 閉 会

日本測量者連盟役員等名簿（案）

令和 7 年 7 月 25 日

（順不同・敬称略）

会 長 村 上 真 幸 （公社）日本測量協会副会長

副 会 長 上 條 勝 也 （一財）測量専門教育センター会長

副 会 長 清 水 英 範 （公社）日本測量協会会長

理 事 岡 田 潤一郎 日本土地家屋調査士会連合会会長

理 事 蓮 見 有 敏 （一財）全国建設研修センター理事

理 事 住 田 英 二 （公社）日本測量協会専務理事

監 事 金 子 祐 造 （一財）全国建設研修センター理事・事務局長

監 事 國 谷 俊 文 （一財）測量専門教育センター理事・事務局長

幹事等

総幹事 村上真幸 (公社)日本測量協会副会長

幹事 (FIG 分科会)

第3分科会担当 平 田 更 一 立正大学地球環境科学部部外研究員

第5分科会担当(測地) 宮原 伐折羅 国土地理院
測地観測センター長

(地図) 福島芳和 (株) パスコ 顧問

第7分科会担当 海 津 優 (一財) 測量専門教育センター
専務理事

Young Surveyors Network 担当 藤 井 十 章 日本土地家屋調査士会連合会

新任

FIG 財団担当 岡田 謙吾 (株)リプロ 代表取締役

第7分科会担当 石井 健太 土地家屋調査士 石井事務所

事務局長 藤 田 直 之 (公社) 日本測量協会理事・事務局長

局 員 田 中 康 公 (公社) 日本測量協会総務部調査役

2024年度 事業報告

日本測量者連盟

年 月 日	内 容
2024年5月19日 ～24日	FIG作業週間 (Working Week) 2024 ガーナ国アクラ 村上総幹事 参加 ※費用は(公社)日本測量協会 支払い
2024年7月22日	2023年度 監事監査
2024年7月26日	役員会 2023年度事業報告・決算報告 2024年度事業計画(案)・予算(案) その他
2024年11月22日	JFS 報告会 対面による報告会 配信(オンラインでの参加)(参考 2) 別紙 資料5
2025年1月29日 ～31日	G空間EXPO2025(東京ビッグサイト) FIG及びJFSの活動をパネル、ビデオ及びリーフレット により紹介(参考 1)
	ニュースレター(随時発刊)

収 支 決 算 報 告

日本測量者連盟

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
〔収入の部〕				
団体会費	600,000	600,000	0	研修センター5万, 測専教10万, 日測協30万, 日調連15万 (4団体)
法人会費	65,000	65,000	0	13口 (1口5,000円) (株)リプロ、ホコタ設計コンサルタンツ(株) 他
個人会費	54,000	48,000	△ 6,000	会員26名 (@2,000円) 未納2名・退会1名
預金利息	40	496	456	きらぼし、三井住友
収 入 計	719,040	713,496	△ 5,544	
			0	
〔支出の部〕			0	
消耗品費	5,000	0	△ 5,000	
FIG旅費	0	0	0	FIG作業週間参加 (ガーナ国アクラ)
JFS報告会 (旅費等)	87,000	111,829	24,829	報告会講演者旅費等
郵送料	4,000	3,192	△ 808	日本郵便: 会費請求送料等
会議費	51,000	54,648	3,648	監査・役員会 昼食代、報告会懇親会費
事務委託費	300,000	300,000	0	日測協: 事務委託費
FIG会費	252,667	243,167	△ 9,500	2024年度年会費 (EUR)
手数料	20,000	15,821	△ 4,179	郵便振替、きらぼし銀行
			0	
支 出 計	719,667	728,657	8,990	
当期利益	△ 627	△ 15,161	△ 14,534	
前期繰越金	1,057,086	1,057,086	0	
次期繰越金	1,056,459	1,041,925	△ 14,534	

貸借対照表

2025年3月31日現在

流動資産	前期繰越	残額	増減
郵便振替	271,683	525,912	254,229
三井住友	426,746	426,965	219
きらぼし 普通	358,657	89,048	△ 269,609
計	1,057,086	1,041,925	△ 15,161

流動負債			
流動資産 - 流動負債	1,057,086	1,041,925	△ 15,161

特別積立金			
きらぼし 定期	2,000,000	2,000,000	0

流動資産 - 流動負債 + 特別積立金 (定期)	3,057,086	3,041,925	△ 15,161
--------------------------	-----------	-----------	----------

監査の結果、適正に処理されていると認めます。

令和 7 年 7 月 22 日

監事 金子 直樹 印

監事 國谷 俊文 印

令和6年役員会における監査報告

令和7年7月25日

監事の 國谷 でございます。

監査結果のご報告をいたします。

去る7月22日、日本測量協会に於いて 國谷 俊文^{くに や としふみ}、金子 祐造^{かね こ ゆうぞう}の2名は、日本測量者連盟の監事として、2024年4月1日から2025年3月31日までの会計帳簿等の監査をいたしました。

その結果、適正に処理されていることを確認しましたのでご報告いたします。

2025年度 事業計画(案)

日本測量者連盟

年 月 日	内 容
2025年4月6日 ～10日	FIG作業週間(Working Week)2025 オーストラリア ブリスベン 村上総幹事 参加 (日本測量協会 副会長) ※費用は(公社)日本測量協会 支払い 別紙 資料6
2025年7月22日	2024年度 監事監査
2025年7月25日	役員会 役員の異動報告並びに役員等の選任(案) 2024年度事業報告・決算報告 2025年度事業計画(案)・予算(案) マレーシア公認測量者協会からの短期研修の受け入れ その他
2025年10月21日 ～23日	マレーシア公認測量者協会からの短期研修の受け入れ
2025年11月頃	JFS報告会
2026年1月28日 ～30日	G空間EXPO2026 に於いて、FIG及びJFSの活動をパネル、ビデオ及びリーフレットにより紹介
	ニュースレター(発刊予定)

2025年度 予算(案)

日本測量者連盟

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	2024年度 (A)	2025年度 (B)	増減額 (B)－(A)	摘 要
団 体 会 費	600,000	600,000	0	研修センター5万, 測専教10万, 日測協30万, 日調連15万 (4団体)
法 人 会 費	65,000	65,000	0	法人会費 13口 (1口5,000円)
個 人 会 費	54,000	48,000	△ 6,000	個人会費 24口 (1口2,000円) 前年入金実績
預 金 利 息	40	500	460	前年実績より
合 計	719,040	713,500	△ 5,540	

2. 支出の部

科 目	2024年度 (A)	2025年度 (B)	増減額 (B)－(A)	摘 要
消 耗 品	5,000	5,000	0	文房具等
FIG 旅 費	0	0	0	2025年度協会負担 (オーストラリア) FIG作業週間登録料及び参加、旅費等
JFS 報 告 会	87,000	120,000	33,000	JFS報告会旅費等 (前年実績より)
郵 送 料	4,000	4,000	0	請求書、他 送料 (前年実績より)
会 議 費	51,000	55,000	4,000	監査・役員会昼食、報告会等 (前年実績より)
事 務 委 託 費	300,000	300,000	0	日本測量協会へ支払
F I G 会 費	252,667	240,328	△ 12,339	FIG2025年度会費の納入金(R7.4.3 実績より)
手 数 料	20,000	16,000	△ 4,000	郵便振替手数料、他 (前年実績より)
合 計	719,667	740,328	20,661	
当期増減	△ 627	△ 26,828	△ 26,201	
前 年 度 繰 越	1,057,086	1,041,925	△ 15,161	
次 期 繰 越 金	1,056,459	1,015,097	△ 41,362	

3. 特別積立金

科 目	前年度積立金 (A)	繰越金 (B)	増減額 (B)－(A)	摘 要
積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	きらぼし銀行定期預金

マレーシア公認測量者協会からの短期研修の受け入れ

1. マレーシア公認測量者協会 Association of Authorised Land Surveyors Malaysia (PEJUTA) について

公認土地測量者の協会として1979年に設立。FIGに加盟するマレーシア唯一の組織。486名の正会員、187名の準会員、11の企業会員その他から構成。

2. 実施に至る経緯

FIG 作業週間 2024 において JFS の村上と PEJUTA の Rodi Ismail 会長が出会ったのが機会となり、後日 PEJUTA から JFS に対して日本での短期研修の受け入れの依頼があった。PEJUTA は技術者の生涯教育として毎年他国での研修コースを組んでおり、その一環として 2025 年は日本を選択した。

3. PEJUTA との交流の意義

PEJUTA は FIG の会議を 2014 年に主催した。この会議は東南アジアでシンガポールに次いで 2 番目となるもの¹⁾であり、この地域では組織力のある団体と考えられる。また、PEJUTA は現在 ASEAN における測量士資格の統合検討グループの議長を務めており、交流を深めることにより将来の参考となる情報を得られると考えられる。

なお、マレーシアの国家測量機関である JUPEM は全土をカバーする 96 点の電子基準点網を所有しリアルタイムデータの提供を行っており、測量に関して日本と類似の状況を持つ国と考えられる。

4. 研修日程（別紙日程表）

10 月 21 日（火）から 23 日（木）を予定。

JFS が（公社）日本測量協会、国土地理院、（株）トプコンに依頼して、視察、講義を実施する。JAXA には有料公開見学ツアーを申し込んでいる。

5. 予算

必要経費は PEJUTA が負担する。宿泊、移動、食事に関しては PEJUTA が直接業者と契約を行う。講義、視察に必要な経費は PEJUTA から JFS に支払いを行い、JFS から講師と日本測量協会その他の機関に支払いを行う。

6. JFS における海外からの訪問者の受け入れ事例

直近の事例として、JFS は 2018 年 6 月に青山学院大学で開催された第 2 回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・アジア太平洋会議を FIG-YSN、FIG 財団他と共催した。約 70 名（海外 30 名、国内 40 名）の参加者があった。JFS は、会場の準備、ビザ発行に関する支援、経理等、運営支援、JFS 会員への参加・協力の依頼を行った。

¹ アジア全体では日本(1984)、中国(1991)、シンガポール(1997)、韓国(2001)に次いで 5 番目の開催。6 番目としてベトナム（2019 年）で開催。。